

第二十四回帝國議會 公證人法案委員會會議錄(速記)第二回

會談 明治四十一年二月十八日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

- 磯部 四郎君 古賀 庸藏君 立川 雲平君
牧野 逸馬君 向坂 弘君 望月 長夫君
神崎 東藏君 大熊 三之助君 谷澤 龍藏君
花井 卓藏君 川原 茂輔君 森 肇君

出席國務大臣左ノ如シ 司法大臣 松田 正久君

出席政府委員左ノ如シ 齋藤十一郎君 同 入江 良之君
司法省參事官 齋藤十一郎君 同 入江 良之君

公證人法案

○委員長(磯部四郎君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス

○司法大臣(松田正久君) 公證人法案ニ付キマシテハ、過日本會ニ於テ大體ノ説
明ヲ致シテ置キマシタ譯デアリマスルガ、本案ハ年來 改正ヲ致サンケレバナラヌト云フ宿
題ニナリテ居リマシタガ、實ハ昨年ニ於テ議案ノ提出ヲ致シタイト云フ積リデアリマシタ
ガ、何分他ニ重大ナル法案モアリマスルシ、殊ニ尙 審査ヲ要スル 廉キカアリマシテ、遂ニ
漸ク今期ノ議會ニ提出スルコトニナリマシタ、其要點ニ至ッテハ、政府委員ヨリ詳シク説
明ヲ御質問ニ應ジ、或ハ進ンデ致スコトモアリマセウガ、成ルベク急ニ御審査ヲ願ヒタイ
モノデアリマス、唯今ノ第一回ノ委員會ガ開カレマスカラ、一言申シテ置キマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 公證人法案ハ現行ノ公證人規則ト同シヤウニ、公
證ニ關シマスル規定カラ見マシテ一般法ノテゴザイマシテ、實ハ此案ヲ起草シマスルトキ
ニ當リマシテ、民法、商法、民事訴訟法等ニ掲ゲラレテアリマスルイロノナ特別ナ規
定ヲ合セマシテ、一ツノ公證人法規ノ大ニヤウナモノヲ作ッテ見テハドウカト云フ目論
見デアリマシタノテゴザイマスガ、ソレハ廢メルノガ相當ト云フコトニナリマシテ、ヤハリ現行
規則ガ他ノ法律ニ對スル關係ト同シヤウニ、一般法ヲ規定スルコト云フ主義ヲ執リマシタ
ノテゴザイマス、從ヒマシテ民法商法其他ノ法律ノ中ニゴザイマスル公證ニ關スル規定ト
云フモノハ、本案ニ依リマシテハ少シモ改正サレテハ居ラヌデアリマス、又本案ガ成立チ
マシタ後ニ於キマシテモ、本案ヲ施行スルニ際シマシテ、民法商法其他ノ法律ヲ修正ス
ルノ必要ハ、少シモナイヤウニ出來テ居ルノテゴザイマス、唯本案ノ中ニ一箇條即チ五十
七條テゴザイマスガ、五十七條ノ規定タケガ他ノ特別法トノ關係ヲ定メテ居ルノテゴザ
イマス、是ハ各條ノ質問ニ移リマシタトキニ其必要ノ理由ヲ申シ述ベマス、本案ハ現行
法ガ採テ居リマスル主義、規定シテ居ル規定事項等ニ對シマシテ、根本的ニ修正ヲ加

ヘルト云フ主義テハ出來テ居ラヌデアリマス、主義規定事項等ノ大體ハ、成ルベク之
レヲ保存スルコト云フ主義ニ出來テ居リマス、併ナガラ御承知ノ通り民法商法其他ノ諸
法律ノ規定トノ間ニ、隨分調和ヲ缺キマスル點モゴザイマスルシ、又現在ノ事情カラ見
マシテ、餘リ適當テナイヤウナ規定モ往々ゴザイマスルノテ、其點ハ成ルベク改正ヲ致シ、
又新ニ規定ヲ設ケマスルコトニ致シタデアリマス、ソレカラ御承知ノ通り現行法ハ明
治十九年ノ公布ニナリテ居リマスノテ、法文ノ體裁ニ於キマシテモ、現行ノ新諸法令ト
ハ餘程違テ居リマスノテ、其體裁モ成ルベクハ新シイ諸法律ニ一致セシムル必要モゴザ
イマシタシ、文字ノ用例ナドニ於テモ成ルベクハ新法ニ則ルコトニ致シマシタガタメニ、
各條々々ノ修正テハ目的ヲ達スルコトガ出來マセズシテ、更ニ全部ノ修正ト云フコトニ相
成ツタ次第テゴザイマス、次ニ本案ノ中テ、現行ノ規定ト異リマスル最モ主要ナル點ノ二
三ヲ申上ケマスルノテゴザイマス、先ヅ本案ニ於キマシテハ公證人ノ權限ヲ擴張致シマシ
タ、是モ申上ケルマデモナイノデアルガ、現行法ニ於テハ民事ニ關スル公證書ヲ作ルノ
職務ヲ有スト云フコトニナリテ居リマスルノテ、現在ニ於テハ唯法律行為ニ付テダケ、公證
證書ヲ作ルノガ權限トナリテ居ルデアリマス、本案ニ於テハソレヲ擴張致シマシテ、法律
行為ニアラザル事項ニ於テモ、公證證書ヲ作ルコトノ出來ル權限ト、ソレカラ證書ヲ公
證人ガ作ルコトニシテ、囑託人ノ方テ作リマシタ證書ニ認證ヲ與ヘル、斯ウ云フ權限ヲ
認メマシタノデアリマス、ソレデ一般法ノ權限ト致シマシテハ、證書ノ作成ト私署證書ノ
認證ト云フモノノ原則ト認メマスルコトニ相成ルノデアリマス、次ニ職務執行ノ區域ヲ、
現行法ニ於テハ受持ト唱ヘテ居ルノテゴザイマスガ、是モ擴張致シマシテ採リマシタ、現
在ハ區裁判所ノ管轄區域ガ受持區デアリマスルノテ、案ニ依リマスル地方裁判所ノ管
轄區域全體ニ及ブト云フコトニ擴張致シマシタノテゴザイマス、次ハ證書ノ作成ノ手續
ニ關シマシテ、二三現行法ノ不備ノ點ヲ補ヒマシタノデアリマス、其一ツハ未成年者デア
リマスルトカ、妻デアリマスルトカ、斯様ナ無能力者ガ公證人ニ囑託ヲシテ證書ヲ作ッ
テ貰ヒマスル場合ニハ、必ズ法定代理人ノ同意ヲ得テ來ナケレバナラヌ、又ハ必ズ夫ノ許
可ヲ得テ來ネバナラヌ、唯未成年者自分タケ、又ハ妻自分タケテ囑託ヲシテ證書ヲ作ッ
テ貰ヒマシテハ、斯ウ云フ主義ガ現在ノ事實ニ最モ適シテ居ルコト云フ考デアリマシテ、之
ヲ規定致シマシタノデアリマス、又現行法ニハ代理人ヲ頼シテ囑託致シマスル場合ニ、其
代理ノ權限ハ證明サセマスレドモ、其證明書ガ眞實ノモノデアルカ偽リノモノデアるかト
云フコトニ付テ、證明ノ途ガ缺ケテ居ルノテゴザイマス、是ガタメニ其委任狀ノ偽造事件ト
云フモノガナカノ、數多イノテゴザイマシテ、此點カラ見マシテ、此現行法ハ最モ缺點ノ
アル規定ヲ有ッテ居ルモノト認メラレテ居ッタデアリマス、ソレヲ補ヒマシテ、代理人ニ依
テ囑託ヲ爲ス場合ニ委任狀ハ必ズ嚴重ニ證明サセナケレバナラヌ、斯ウ云フ主義ヲ取ッ
タノテゴザイマス、ソレカラ現行法ニハ外國人、韓者、啞者ナドガ自分テ囑託ヲナス場合
ノ規定ガ缺ケテ居リマスノテ、之ヲ補ヒマスル爲メニ、通事ヲ立會ハシメルト云フ規定ヲ
設ケマシテゴザイマス、其他イロノ、ゴザイマスガ、是ハ各條ヲ御質問ノ場合ニ於テ説明

ヲ致スコトニ致シマセウ、尤モ本案ニ新シイ規定ヲ設ケタ中デ、大キイ事柄ハ私署證書ノ認證ニ關スル手續ヲゴザイマス、認證ノ方法トシマシテハ、案ヲ御覽ニナリマスレバ能ク御分リニナリマスガ、三ツノ方法ヲ認メマシタ、囑託人が自分デ署名捺印ヲシタノヲ公證人が認證スル、ソレカラ署名捺印が自分ノモノデアルト云フ其事實ニ付キマシテ、署名捺印が證明者ノモノデアルト云フコトヲ認證スル場合、ソレカラ私署證書ノ謄本ト原本ト較ベテ同一ノモノデアルト云フコトヲ認證スル場合、此三ツノ方法ヲ認メマシタノゴザイマス、ソレデ認證ノ方法トシテハ、先ヅ差支ナイ積リデゴザイマス、手續ニ至リマシテ大體ニ於キマシテ證書ヲ作成ニ關スル手續ヲ準用スルコトニ致シタノゴザイマス、次ニ公證人ノ監督及懲戒、此點ニ付キマシテハ餘程精密ノ調査ヲ致シテ、成ルベク監督ノ關係ヲモ密ニシテ監督ノ實ヲ擧ゲタ、又懲戒ニ於キマシテモ成ルベク懲戒ノ真ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト云フ考カラシテ、種々詳細ナ規定ヲ設ケマシテ、大分現行法ト異ッテ居ルノゴザイマス、要スルニ現行法ニ於キマシテ公證人ノ監督懲戒等ノ手續が不備デアルト云フコトハ、現行法ヲ御覽ニナレバ自ラ明ニナルノゴザイマシテ、此點ハ政府ニ於キマシテモ大ニ苦心シテ規定シタ次第デゴザイマス、是ハイロ／＼細イコトニ涉リマスカラ、細イ御質問ノ場合ニ於テ一々御答ヲ致スコトニ致シマス、最後ニ最モ新シイ規定トシテ御紹介致サナケレバナラヌノハ、公證人ニ於テ公證事務取扱ト云フ規定ヲ設ケタノゴザイマス、是ハ全ク公證人ノ權限ヲ裁判所ニ移スト云フ主義カラ出テ居ルノデアリマセヌ、全ク囑託ノ便宜ヲメニ止ム得ズ規定シテ設ケタ次第デゴザイマス、大體ニ於テ異ナル點ハ簡様ナ點デゴザイマス、最後ニ尙申上ゲテ置キタイノハ、本案ハ公證事務取扱ニ於キマシテハ、成ルベク現狀ヲ維持スルコトヲ主義ヲ採リ居リマスノデ、其主義ヲ採リマシタコトハ附則ヲ御覽ニナレバ能ク明瞭致スデアリマスガ、現在ノ公證人ハ公證人トシテ本法ニ於テ之ヲ認メ、其役場所所在地ニ於テ引續イテ事務ヲ取扱フコトノ出來ルヤウ致シ、又身元保證金ノ額ニ付キマシテハ、之ヲ其儘ニ致シテ置クコトヲ規定ヲ設ケマシテ、成ルベク現狀ヲ維持スル、本法が出来マシタメニ事務ノ進行ガ、滑ニ往カヌト云フコトノナイヤウニ致シタイノゴザイマス、大體ニ付テノ説明ハ斯ヤウデゴザイマスガ、尙御質問ガアリマスレバ御答ヲ致スコトニ致シマス

○花井卓藏君 今回ニ於テ現行法ト、主義ニ異動ガアルヤ否ヤニ付テ司法大臣ニ尋ネシマシタトコロ、主義トシテハナイト云フコトデアリマシタガ、法文ノ全體ヲ讀ムテ見マスト云フト、現行法ニ比シテハ可ナリ主義ノ變化ヲ見ル點モアリマス、主義ニ變化ヲ見ル點ガ多イダケソレダケ改正ノ必要ヲ生ズルデアルカラ、ソレニ異存ハアリマセヌガ、私ハ根本問題ヲ以テ御尋ネシタイト云フノハ公正證書法ト云フ法律ヲ立テル御考案ハナイカ、公證人法ニ依ラズシテ公正證書法ヲ作成スベキ場合、而シテ作成セザレタル證書ノ効力、斯ノ如キ原則ヲ先ヅ第一ニ定メテ置テ、而シテ其公證人ト云フモノガ右ノ證書ヲ作成スベキ職務ヲ有シテ居ルモノデアルト云フ方法ニ移ルガ本當デハナイカト思ヒマス、成程民法其他ノ法令ヲ讀ムテ見マスト云フト、如何ナル場合ニ公正證書ヲ作成スベキヤ、而シテ其證書ハ如何ナル効力ヲ有スルヤト云フコトハ定メテアルニ違ヒナイケレドモ、既ニ獨立シタル公正證書ト云フモノ、中ニ、證明方法ト云フ事柄ヲ法律ガ認メルト云フ以上ハ、獨立立法ノ規定ハ獨立立法ノ規定、民法ノ規定ハ民法ノ規定トシ

テ定メ、原則的ニ公正證書法ト云フモノヲ規定セラルコトガ、至極相當ノコトデアラウト思フガ、其邊ノ詮議ハナカッタカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス、ソレカラ是モヤハリ大體ニ關スル問デアリマスガ、公正證書ト云フモノハ誰人が作成スルモノデアルカト云フ、是ハ餘程奇妙ナ問デアルケレドモ、事實今日ノ裁判例ノ中ニ於テ、此問ヲ起サザルヲ得ヌデアリマシテ、又確メテ置カナケレバナラヌ、今ノ大審院ノ裁判例ハ公正證書ト云フモノハ、當事者即チ囑託人及ヒ公證人ノ合作ニ係ルモノ、如キ判例ヲ造リテ居ル、是ハ能ク御承知モアラウ、ヤカマシイ問題デアリマスカラ委任狀ヲ携ヘテ公證人ノ處ヘ往テ囑託スル、代理人トシテ公正證書ヲ作リテ貫フト云フ場合ニ於テハ、其委任狀ヲ偽造スルトキハ從前ハソレヲ以テ私書偽造行使トシテ居ッタデアル、然ルニ此二三年後大審院ノ判決サレタル例ニ據リマスレバ、公正證書ハ囑託ニ依テ作成スルモノデアルカラ、半ハ囑託人ノ作成スルモノト見テ宜イ、而シテ半ハ公證人ニ據テ作成サル、モノト見ルト云フノデ、其委任狀ノ偽造ヲ以テ公文書偽造ナリトシ、間違ッタ列ヲ與ヘテ居ルノデアリマスガ、今日ニ至ルマデ反省シナイ、檢事局ハ吾々ト同ジ意見ヲ有シテ居ルガ、大審院ハ改メナイ、本法ハ半ハ囑託人半ハ公證人デ作成スルコトヲ趣意ヲ以テ成立テ居ルモノデアルカ、否ヤト云フコトヲ、確ニ承テ置カナケレバナラヌ必要ガアル、ソレカラ今一ツ根本問題デアリマスガ、條文ノ内容ニ這入ルヤウデアリマスガ、ヤハリ根本問題デアリマスガ、私署證書ニ認證ヲ與ヘルコトハ、公證人本來ノ性質デアルベキ性質ノモノト御認メニナリマス理由ヲ承リタイ、唯今ノ御説明デ斯ノ如キ權限ヲ立テタト云フ御説明デアリマシタ、公證ハ本來ノ性質トシテ、此ノ如キ性質ヲ有スルハ當然デアルト云フ理由ヲ承リタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 第一ノ御質問ニ付キマシテハ、モト此案ヲ起草致シマスル際ニ御尋ニナリマシタヤウナ考ガアリマシテ、當局者ニ於テ研究シテ見タ事實ハアルノデアリマス、併ナカラ一方ノ項ニ於キマシテ、公正證書ヲ作ルベキ場合ハ、多クハ此民法商法等ニ規定サレ、或ハ其他ノ法律ニ規定サル、コトニ成ツテ居リマスノガ多イノト、ソレカラ殊ニ民法ニ於キマシテモ、委任狀ノ如キ、其項ヲ今日カラ既ニ規定サレテアリマスルコトヤ、ソレカラ又本法及公正證書ヲ作成スル場合ヲ極メテ居リマス、却テ他ノ法律ヲ制定シマスルトキニ、規定ヲ鈍ラスヤウナ眞ハナイカト云フヤウナ趣意ノ理由カラ致シマシテ、先ヅ公正證書ヲコノ場合ニ作ルト云フ規定ハ、一般法ニハ載セナイ方が宜カラウ、唯一般法トシテ特別法ニ規定シテアル其場合ニ適用サル、原則法トスル方が宜カラウ、斯ウ云フ考ノ方が終ニ採用サレタ譯ナデアリマス、ソレカラ効力ニ付キマシテハ、實ハ政府ニ於テハ唯今マダ確定ハ致シマセヌノデスガ、案トシテ起草ヲ進行中デアリマスル、民事訴訟法ノ中ニ其効力ノコトヲ規定スル主義デアッタデアリマス、確カ私ノ記憶ニ據リマスレバ、元トノ法典調査會ガ拵ヘマシタ民事訴訟法ノ修正案ノ中ニ、公正證書ノ効力ノコトヲ規定シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ譯カラ此案ニハ公正證書ノ効力ノコトハ其効ト云フコトニ相成ッタデアリマス、ソレカラ第二ノ質問デアリマス、本案ノ主義ハ無論公正證書ヲ作ルハ公證人其人デアツテ、囑託人が其作成者全部デモナケレバ半分デモゴザイマセヌ、サウ云フ主義ハ絕對ニ認メテ居リマセヌ、第二ノ御尋、私署證書ニ認證ヲ與フルト云フコトハ、公證人ノ公然ノ職務デアルヤ否ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ實際ノ必要ニ應ジマシタ次第ノデ、殊ニ其民事訴訟法ノ中ニ委任狀ニ認證

ヲ與ヘル場合が規定シテゴザイマス、ケレドモ其手續が缺ケテ居リマス、ソレデ公正證書ニ作成スル事柄ト、私署證ニ認證ヲ與ヘル事柄トハ、ヤハリ一般特別法ノ事項デアアルマイカ、別ニ深キ理由ト云フノハゴザイマス、實際便宜ニ應ズルト云フノガ最モ重モナル理由デアリマス

○花井卓藏君 尙御尋シマスガ、現行公證人規則ノ第三條ニ據レバ、規定ノ條文ハ不完全デアリマスケレドモ、ヤハリ此公正證書ノ効力トモ云ヘル場合が規定シテアリマス、即チ私等ノ趣意ヲ若干部分ハ充テサレテ居リマス如ク解セラル、之ヲ全然御削リニナタト云フノハ、此ノ如キ規定ハ言フ迄モナク分リ切ツタコトデアリシ、殊ニ又此公正證書ノ證據トシテ大効力ハナシ、民法其他ノ法律ナドヲ讀ンデモ、是ハ必要ナイト云フ主義ヲ削ラレタノデアラウト思ヒマスガ、ソレハソレトシテ私ノ當初ニ御尋申シマシタ公正證書法ト云フモノハ、無クテハナラヌト云フ御尋ノ御答ノ趣意ヲ畢竟見マス、民法商法其他ノ特別法令ニ、構成スベキ證書ヲ作成スベキ場合ヲ規定サレテ居ルモノト、離レノニ成テ居ルケレドモ、公正證書法デアル、サウシテ此公證人ノ方ハソレヲ作ル人間ノ權限監督懲戒等ヲ規定シタモノデアル、斯ウ云フ趣意ノ御答ト心得テ宜イノデアリマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御尋ノ通り宜シウゴザイマス、尙此案ニ附加ヘテ置キマス、彼ノ特別法案ニ證書ノ作成等ニ付テ規定シテ居リマス、此關聯シテ居ルモノハ少クナイノデアリマス、一般法ヲ適用ノ場合デ一ノ全キモノニ相成ルト云フコトニ相成ルノデ、其原則法ヲ規定スル必要ハアルノデアリマス

○大熊三之助君 此際少シ思ハ質問カハ知リマセヌガ、當職者ノ希望ニ依リマスレバ、此ノ公證人法案ト云フモノハ公證人ニシテ貫ヒタイトカ、或ハ公證士ハ内閣ガ之ヲ命ジテ貫ヒタイトカ、又先キノ案ニハ區裁判所ノ管轄デアツタモノヲ地方裁判所ノ管轄ニシテ貫ヒタイト云フ希望ヲ有シテ居ル、ソレニ付テ御尋シテ置キタイノハ、政府ハ公證人法案ニ於テ、公證人ノ現在ノ資格ヲ保留セムトスルノカ、或ハ公證人ノ地位ト云フモノヲ高メヤウト云フ御考デア居ルノデアリマセウカ、ソレカラ現在ノ狀況ニ於テハ公正證書ヲ要シマスル者ハ、多クハ高利貸トカ或ハ狡猾ナル者ガ、即チ他人ノ財產權ヲ侵害スル利器ニ供スルト云フ有様デアツテ、寧ロ公正證書ト云フモノヲ害用シテ居ルノガ、今日ノ實際ニ於テ多イヤウニ吾々ハ認メル、ソコ此ノ確定日附トカ或ハ委任狀ノ認證デアルトカ云フコトハ、隨分公證人が無クモ裁判所デアリテモ出來ル仕事デアル、ソレデアルノニ一面ニ於テハ寧ロ公正證書ト云フモノヲ、今日害用シテ居ルト云フヤウナ有様デアアルカラ、寧ロ公證人ナドト云フモノハ全廢シテ方宜イト云フ議論が随分世ノ中ニハアル、ソレデゴザイマスカラ、此際政府ハ公證人法案ト云フモノノ改正ヲ致シマシテ迄モ、尙此ノ公證人ノ存在ト云フモノヲ必要トセラル、ヤ否ヤ、他ニ之ニ代ルベキ適當ノ方法ハナイカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 第一ノ御尋ハ、本案ニ於テハ公證人ノ地位ヲ、現在ノ地位ヨリモ高メル趣意デアアルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、實ハ理想ト致シマシテハ成ルベク地位ヲ高メテ、判事檢事若クハ辯護士ト同ジモノニ致シタイノデアリマス、併ナガラ今日ノ事情ハソコマデ高メルコトハ許スマイト思フノデス、ソレデ現在ヨリハ無論高

メラレテ、試験モ其程度ヲ高メル積リテゴザイマスノデ、現行法ニ比シマシテハ、サウ云フ意味合ニ於テ高メテアルト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス、第二ノ御尋デアリマスガ、成程現在ノ公證制度ニ就キマシテ非難ノ點モ聞カヌデアリマスガ、併ナガラ幸ニ此案ガ成立チマシテ、監督ノ手續懲戒ノ手續ト云フモノガ、今日ニ比シテ嚴重ニナリマスレバ、大ニ此ノ弊害ヲ救フコトガ出來ル見込デアリマス、弊害ガ今日ニ於テモ公證制度ヲ全廢スルマデニ程度ノヒドイモノトハ認メテ居リマセヌノミナラズ、此案ガ成立チマスレバ、其ノ弊害ガ益々減ズルト云フコトハ確信シテ居リマスカラシテ、此ノ公證制度ハ無論維持シナケレバナラヌ制度ト確信シテ居ルノデアリマス

○谷澤龍藏君 本員ハチヨット御尋スルコトモアリマスケレドモ、小サイ事デアスカラ今ニツニ御尋ヲ致シタイ、此公證人規則ノ六十五條、之ヲ廢セラレテ六十四條ガ即チ七條ト定メラレテ、此手數料ト云フモノヲ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニナツテ居ル、是ハ何カ御考案ガアルノデスカ、元ノ六十五條ニハ詳シク書イテアルノ方今度ソレヲ削ラレタガ、ドウ云フ風ニ勅令ニ——何か御考案ガアリマシタラバ伺ヒテ置キタイ、ソレカラ外國人ノ公證ハ日本文字デナケレバ出來ナイト云フコトニ改正シテアル、是ハ至極宜カラウト思ヒマスガ、所デ從來橫濱トカ其他ニ於テ公證ニ從事シテ居ルモノガ、外國語テ證書ヲ作ッテ居ル者ガアルヤ否ヤ、若シアレバドノ位アルト云フコトヲ伺ヒタイ、モウ一ツハ此ニ二十八條ノ印鑑證明書ヲ提出シテ、其ノ人違ナキコトヲ證明スルヲ要ス、是ハ成程從來ノ弊害モアリマセウガ、是ハドウ云フ程度マデ證明サスト云フ御考デアリマスガ、隨分困難ナモノデアラウト思ヒマス、印鑑ヲ提出セシメルト云フコトハ分リマスガ、其レニ依テ人違ナキコトヲ證明スルト云フコトハ、ドウ云フコトニスルノデアリマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 第一ノ御尋ハ手數料ニ關スル規定ハナセ勅令ノ規定ニ讓ツタカ……

○谷澤龍藏君 讓ツタトシテドウ云フ御考案ガアルカト云フノデス

○政府委員(齋藤十一郎君) 此手數料ニ就キマシテハ未ダ纏マツタ案ハ實ハ出來テ居リマセヌ、頻リト材料ヲ集メ中デアリマスガ、明治十九年ノ是ガ現行法ノ規定デアリマスガ、其時ニ規定シテアル通りノモノヲ作ルト云フ考ハ無論アリマセヌ、今日ノ事情ニ適シテ殊ニ外國人ナドノタメニモ作ルノデアリマスカラ、外國人ヲ相手ニシテ證書ヲ作ルト云フヤウナ場合ニ、一國ノ品位ヲ害スルヤウナ、サウ云フ安イ手數料ノ制度ハ今日作ラレマイト思フ、今日ヨリハ少モ高クナルモノト御承知ヲ願ヒマス

○谷澤龍藏君 序デスカラ伺ヒマスガ、サウスルト主義ニ於テハ變ラナイ、唯時勢ト共ニ高クナルト云フデケテ、或ハ自由ニ放任シテ雙方任セト云フ主義ニスルノデアリト云フノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此手數料ノ額ハ勅令デ定メル積リデアリマシテ、當事者ノ意見ニ一任スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、第二ノ御尋ニ對シマシテハ材料ヲ今日持ツテ居リマセヌ、何レ取調ベテ申上ケマス、ソレカラ第二ノ二十八條デアリマスガ、是ハ現行法トヒドイ違ヒハナイ積リデアリマス

ルノテ、一向何ノ役ニモ立タナイト見テ宜イノデス、ドウセ證明書ヲ取リマスルナラ印鑑證明書ヲ取テ來マシテ、本人ガ公證人役場ヲ押捺シマス印鑑ト、其印鑑證明ト同ジテアルヤ否ヤト云フコトヲ對照サセマシテ、同ジナレバ人違ヒハナイト、斯ウ云フ主義ニ致シタイ主義ナラデアリマス

○望月長夫君 曩ニ花井君カラ質問ニナリマシタ、今ノ大審院ノ判例ノ問題ニ付テ、今一應政府ノ意見ヲ確メテ見タイト思ヒマス、大審院ガ現行ノ公證人規則ニ據テ、現在公正證書ヲ公證人ト囑託人トノ合作ノ如クニ判決ヲシテ居ル、其基礎ハ現行ノ三十四條デ、此三十四條ニ證書ヲ作りタルトキハ關係人ニ請聞カセ其旨ヲ記入シ然ル後ニ公證人並ニ關係人各自署名捺印シ「云々」ト云テ「公證人並ニ關係人ノ捺印ナキトキハ其證書ハ公正ノ效力ヲ有セス」ト斯ウアルカラ、即チ關係人ノ證明捺印ノアルマデハ公正ノ效力ヲ有スルトコロノ公正證書ニナラナイカラ、公正證書ヲ完成スルニハ、此關係人ノ署名捺印ガ必要ナラズ、ヤハリ關係人ノ署名捺印ガ公正證書ノ一部分ヲ爲スノデアルト、斯ウ云フノ現在大審院ノ判例デアルト思フ、所ガ唯今ノ御提出ニナッテ居リマスル第三十九條ノ三項ニ參リマスル、ヤハリ同ジ關係ガ書イテアル「前二項ノ記載ヲ爲シタルトキハ公證人及列席者各自證書ニ署名捺印スルコトヲ要ス」ト此要スノ文字ハヤハリ第四條ニ持ッテ參レバ署名捺印ガナケレバ公證ノ效力ヲ有セナイト、斯ウ云フコトニナルアラウト思フ、ソレデ現行法トソレカラ現ニ御提出ニナッテ居ル本案ト、其基礎ハ同一デアッテ、サウシテ政府ノ御意見デハ公證書ハ全然公證人ガ之ヲ作ルノデ、關係人ハ即チ囑託人ハ證書ヲ作成ニ何等關係ヲ持ツモノデハナイト、斯ウ云フ先刻ノ御辯明デアリマシタガ、果シテサウシマスレバ、政府ノ見テ居ル、トコロハツマリ現在ノ大審院ノ解釋ガ間違テ居ルノデアッテ此通り同一ノ法條同一ノ文章ニ規定シテモ、囑託人ハ公正證書ノ作成ニ何等關係ノナイモノデアルト、斯ウ云フ御意見ト解釋シテ差支ナイノデゴザイマセウカ、勿論其刑法ガ改正サセマスレバ、アノ偽造ニ關スル問題ト法律上ノ關係ハ無論變テ參リマスルガ、唯其現在ニ於テ現ニ出シテ居ラル、法條ト從來ノ法律トカ同一デアッテ、政府ノ解釋ガ全ク違フヤウニ見エマスカラ、其點ニ對シテ政府ノ御意見ヲ委シク承ッテ見タイト思フ

○政府委員(齋藤十一郎君) 成程御尤ノ御尋デアリマスルガ、此案ノ趣意ハ公正證書ヲ作成スル人ハ公證人デアルト、當事者ハ成程署名捺印ハシマスケレドモ、作成者ト云フモノデハナイト云フ主義ヲ執テ居ルト、斯ウ云フコトニ御答ヲ致シマシタノデ、尙附加ニテ何故サウ見ラル、カト云フ點ニ付テ申上ゲマスレバ、三十五條等ヲ御覽ニナリマレバ、是ハ現行法ニハ此通ノ條文ガゴザイマセウノデスガ、公證人ハ事實ヲ記録スルモノデアルト、斯ウ云フ主義並ニ手續ヲ明カニシマシタ、ソレデ其公證人ガ録取シタルモノガ即チ公正證書ノ本證ニナルト致シマスレバ、ソレヲ作ルモノハ公證人デアルト云フコトハ當然デアラウト思ヒマスノデ、唯當事者ガ署名モ何モスルト云フノハ、其正確ナルコトヲ保證スルト云フ意味デアラウト思フ、ソレドウウツ御了テ承テ願ヒタイ

○望月長夫君 今一ツ此法案デ新ニ出來ルト云フ私署證書ノ認證ノ效力ナラズ、勿論此法案ノ規定ニ據テ私署證書ニ認證ヲ與ヘタル場合ニ、其私署證書ガ當事者ノ承諾ヲシタモノデアル、若クハ當事者ノ私署ガ真正デアル、及認證ヲ與フル當時ニ其私署證書ガアット云フコトニ付テ、其認證ノ效力ノアルコトハ無論デアリマスガ、此私署證書ニ認證ヲ與ヘタ分ガ若シ金錢ノ支拂ヲ目的トスル債權債務ノ關係デアットキニハ、ヤハリ從來能クヤリマシタ債權證書ノヤウニ直チニ效力ヲモ賦與スル御考デアリマスカ、唯サウデハナクテ認證自體ノミガ公正ノ效力ヲ有スルコトニナルノデ、此證書ガ別ニ公正證書ニナル譯デアハナイト云フコトデアリマスガ、ソコヲ一ツ

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今ノ御問デアリマスガ、此認證ノ結果ハ認證分ダケガ公正證書デアゴザイマシテ、直グニ是ガ強制執行ガ出來ル證書ニハナラヌデアリマス

○大熊三之助君 先程谷澤君カラ御質問ニナリマシタ手數料ノ問題ニ付テ、參考ニ同ジテ置キタイノデアリマスガ、現在ノ公證人ノ人數、ソレカラ公證人ハ確カ其收入ハドツカ居ケテ裁判所ナシカニ居ケテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、サウスルトドウ云フ收入ノ額ニナッテ居リマスガ、勅令決定メラルルコトデアリマスカラ、本案ヲ何スルニハ必要ハナイヤウデアリマスガ、參考ノタメニ一應伺ッテ置キタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御答致シマス、公證人ノ員數ハ——本月ノ十五日ノ調ニ依リマスルト、公證人ノ員數ハ三百五人居リマス、ソレカラ手數料デアリマスガ、明治三十七年度ニ於キマシテ二十六萬圓以上端數ハ抜キマス、二十八年度ニ於キマシテハ三十一萬圓以上三十九年度ニ於キマシテハ三十三萬圓以上ト斯ウナッテ居リマス

○花井卓藏君 條文ニ入ッテ御尋シタイノデスガ、是ハ分ラヌカラ御尋ラスルノデスガ、第一條ニ其當事者其他ノ關係人ト斯ウ書イテアル、其他ノ關係人ト云フノハドシナモノデアリマスガ、法律行為其他ノ私權ニ關スル事實トアル、其他ノ私權ニ關スル事實ト云フノハドウ云フ譯デアルカ、御解釋ノ如何ニ依テハ或ハ重複ノ規定デアハナイカト云フ感覺ヲ起スノデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ御尤ノ御尋デ、此文ヲ書キマスニ付キマシテハ、大ニ苦心ヲ出シタノデアリマス、無論御承知ノ通りニ當事者ト申セバ法律行為ニ關係シテ居ルコトハ申スマデモナイノデアリマス、併ナガラ法律行為ニアラザル事實ニ付テモ、證書ヲ作成スル權限ヲ有タシメタルト云フコトニナリマス、法律行為デアナイ事實ニ付テハ、當事者ト云ハズニ何トカ云ハネバナラヌ必要ガ起ッテ參ル、ソレデ關係人ト云フ字ヲ用井マシテ、廣ク其意ヲ廣メル意味ニ用井タノデアリマス、此關係人ト云フ言葉ノ用例ハ、非訟事件手續法ニ載セテ居リマスカラ、ソレヲ用井マシタ次第デアリマス、ソレカラ尙サウ致シマスルト無論關係人ト云フ中ニハ、當事者ガ這入ッテ居リマスル、ソレカラ私權ニ關スル事實、是ハ例デ申シテ見マスルト、人ガ生キテ居ルト云フヤウナ事實ナラズ、是ハ出訴ノ宣言ヲ取消シテ貰フ等ノ場合ニ最モ必要デアラウト思フ、ソレカラ最モ是カラ實用ニアラウト思ヒマスノハ、株式會社ナドノ總會ノ議事ヲ筆記セシメマス、是モ法律行為ニアラザル事實デアラウト思ヒマス、併ナガラ私權ニハ關シテ居ルノデス、ドウウ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 サウスルト大變大キイ問題ニナルノデスガ、公證人ノ作成スベキ公正證書ト云フモノハ、御證明ノ如クンバ法律行為以外ノモノニマデモ及ブデアル、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其通りデアリマスルガ、唯私權ニ關スルト云フコトハ何處マテモ附イテ居ルノデアリマス、事實デアリマシテモ私權ニ關係ナイ事實ニ付テハ、證書ヲ作ラレナイト云フコトニナルノデアリマス

○花井卓藏君 然ラバ事ノ私權ニ關スル以上ハ、法律行為ナルト否トニ拘ラズ、公正證書ハ作成セラレベキモノデアルト云フコトニ、此案ハ擴張セラレタ意味ト見テ宜シイカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其通りデス

○花井卓藏君 淺學デ能ク分リマセヌガ、無論各國ノ立法例モ御參考ニナッタコトデアラウト思ヒマス、法律行為以外ノ事實ノ證明、例ヘバ行政權ガ證明シテ事足ルベキ、村役場ニ於テ證明シテ事足ルベキコトデモ、ヤハリ公證人ヲシテ公正記録ニ依テ之ヲ證明セシムルト云フヤウナ立法例ガ、何處ノ國カニアルノデセウカ、並ニ我國ニ於テハ斯ノ如キ場合ニ於テ、今日マデハ如何ナル取扱ヲナシテ居ッタデアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御尋ニ付イテ御答致シマスガ、ヤハリ外國ノ立法例モ二三研究シマシタ結果、斯様ナ主義ヲ認メテ居リマスルノデゴザイマスカラ、ソレニ據リマシタ次第デアリマス

○花井卓藏君 ソレハ何處ノ國デス

○政府委員(齋藤十一郎君) 澳太利モ其通りデアリマスシ、普魯西、「ババリア」モ其通りデアリマス

○花井卓藏君 ソレハ原則トシテ第一條ニ左様ナ規程ヲナシテ居ルノデアリマスガ、或ハ原則トハセズシテ、補助ノ權能位ノ意味ニ別段ノ條文ヲ認メラレテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今御話ノヤウナ主義ヲ認メテ居ルノモゴザイマスシ、ソレカラ法律行為ト同シヤウニ見テ居ルノモゴザイマス、兩方ゴザイマス、ソレカラ尙引續キマシテ先程ノ御尋ニ御答ヲ致シテ置キマスガ、本案ハ公證人ニ是ダケノ權限ヲ專賣的ニ授ケタノデアリマセヌノデ、是ハ公證人ノ專權トナッタ次第デアリマセヌ、此法案ガ成立チマシテモ、他ノ法令ヲ以テ官廳又ハ他ノ公署ガ有ッテ居リマス權限ハ其儘存シテアルノデ、其方デ證明ノ出來マス分ハ無論他ノ官廳公署ガ證明スルコトニ相成ルノデ、其權限ヲ公證人ガ侵スコトハ出來ナイト思ヒマス

○花井卓藏君 ソレデ事ハ足リルデアリマセヌカ、今ノ私權ニ關スル事實ノ證明ナドノ如キニ至ッテハ、行政官廳ニ於テ證明ヲスルト云フ法令若クハ慣例ガアッタナラバ、ソレニテ事足ルデアリマセヌカ、今日マデハソレニテ事足リテ居ッタノデアリマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御尋ガ御尤ト思ヒマスカラ、餘リ細カク涉リマスケレドモ、例ヲ以テ御答致シタイノデアリマスガ、私權ニ關スル事實ノ中デ是カラ最モ重テ事實トナルベキモノハ、先程申シマシタ會社ノ總會ノ議事録ナドデアリマスガ、又最モ普通ニ行レルデアラウト思ハレマスノハ、商人ナドノ支拂拒絶、催促ニ往ッテモ渡シテ呉レヌト云フ事實デゴザイマス、其場合ニ其事實ノ證明ガ必要ナル場合ニハ、公證人ヲ呼ンデ來テソレヲ作ッテ貰フ、ソレカラ例ヘバ物ヲ賣買シヤウト云フ場合デモ其物ガアル、確カニ斯ウ云フ状態ニアルト云フコトヲ公證人ヲシテ證明シテ貰フ、殊ニ是ハ樹木ノ賣買ナドニ何本アルト云フコトヲ勘定シテ貰フ、ソレヲ事實ノ證明トシテ貰フト云フ必要モ極メテ多カラウト思ヒマス、サウ云フコトハ官廳公署以外ノ證明事實デアッテ、隨分斯ウ云フ

事實ガ多カラウト思フノデアリマス、ソレヲ補フタメノ規程デゴザイマスノデ、左様ニドウツ御諒承ヲ願ヒマス

○委員長(磯部四郎君) 御質問ハゴザイマセヌカ

○花井卓藏君 モウ一ツ御許シテ願ヒタイ、是ハ文字ノコトデゴザイマスガ、私署證書ニ認證ヲ與フルト云フコト、此私署證書ニ認證ヲ與ヘルト云フコトハ、ヤハリ其認證ヲ與ヘル私署證書ノ作成ト云フ意味ニナルノデセウカ、先キノ條文ニ付イテ質問ヲ起スコトノ省略ニモナリマスカラ「私署證書ニ認證ヲ與フルノ權限ヲ有ス」ト云フ文字ハ讀ミ變エタナラバ、認證ヲ與ヘル私署證書ヲ作成スル權限ヲ有スト云フ意味ニ取ッテモ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) サウハ讀メマセヌ

○花井卓藏君 宜シウゴザイマス

○牧野逸馬君 私ハ逐條ニ至ッテ御尋ヲシタイノデスガ、第三十一條ニ……

○委員長(磯部四郎君) 如何デセウ諸君ニ御相談ヲシマスガ、今日ハ大體ノ質問ニ止メマシテ、逐條ニ關スル御質問ハ逐條審議ノトキニ、ヤハリ一ツノ御質問ニ相成ッテ、所謂訂正若クハ修正ト共ニ進シテ往ッタ方ガ便宜デアラウカ知ラント思ヒマスガ……

○牧野逸馬君 サウ云フ御考デ、マダ質問ノ餘地ガアレバ……

○委員長(磯部四郎君) 無論アリマス

○花井卓藏君 食事が濟ンデカラナスッテハドウデス

○委員長(磯部四郎君) 若シ今日大體ニ付テ御質問ガゴザイマセヌナラバ、先ヅ大體ノ質問ハ是デ終リマシタコトニ致シマシテ、ソレカラ午後ニ繼續シマスルヤ否ヤト云フコトニ付テ、諸君ノ御意見ヲ煩シタイト考ヘマス

(一止メル方ガ宜カラウ) 散會ヲ願ヒマス「又「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(磯部四郎君) ソレナラバ今日ハ是デ終リマシテ、明後日午後一時ヨリ本會議ノ時ニ議長ノ許可ヲ得テ委員會ヲ開クコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午前十一時五十二分散會

明治四十一年二月十八日印刷

明治四十一年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局